

2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年 8月14日

上場会社名 株式会社フォーサイド 上場取引所 東
 コード番号 2330 URL <https://www.forside.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 根津 孝規
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 飯田 潔 TEL 03 (6262) 1056
 四半期報告書提出予定日 2023年 8月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,305	△1.9	53	—	49	—	55	—
2022年12月期第2四半期	2,349	△4.2	△59	—	△54	—	△68	—

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 57百万円 (—%) 2022年12月期第2四半期 △68百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	1.70	—
2022年12月期第2四半期	△2.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第2四半期	4,302	1,112	25.9	34.20
2022年12月期	4,249	1,055	24.8	32.44

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 1,112百万円 2022年12月期 1,055百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年12月期の期末配当は今後の業績見通し等を踏まえて判断することにしていないため未定であります。

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,919	△1.4	145	—	139	—	133	—	4.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
除外3社（社名）フォーサイドフィナンシャルサービス株式会社、株式会社マーベラスアーク、株式
会社ホールワールドメディア

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	32,557,704株	2022年12月期	32,557,704株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	19,774株	2022年12月期	19,284株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	32,538,177株	2022年12月期2Q	32,539,422株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	13
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行され、行動制限や入国規制が緩和される等、経済活動の正常化に向けた動きが進む中で、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、ウクライナ情勢の長期化を受け原材料価格やエネルギー価格の高騰、円安による更なる物価上昇も加わり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域であるプライズ事業を含むアミューズメント市場におきましては、人流の回復に伴い、アミューズメント施設の集客も好転しておりますが、人件費の高騰や電気料金の度重なる値上げによるコストの増加等、厳しい事業環境が続いております。

住宅市場におきましては、2023年6月の新設住宅着工戸数が前年同月比4.8%の減少となり、前年同月比で先月の増加から再びの減少となりました。また、新設住宅着工床面積においても、前年同月比で5ヶ月連続の減少となっており、引き続き注視が必要です。

このような経済状況の中、当社グループにおいては、主力事業であるプライズ事業・不動産関連事業を中心に事業収益の拡大を図ってまいりました。また、第1四半期連結会計期間において、赤字の状態でも早期の業績の回復を見込めない、フォーサイドフィナンシャルサービス株式会社、株式会社マーベラスアーク及び株式会社ホールワールドメディアの株式譲渡を完了する等、経営資源の選択と集中を進め、財務基盤の強化に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は2,305,871千円（前年同期比1.9%減）、営業利益は53,847千円（前年同期は営業損失59,239千円）、経常利益は49,044千円（前年同期は経常損失54,893千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は55,293千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失68,262千円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①プライズ事業

プライズ事業につきましては、株式会社ブレイクがクレーンゲーム機等のプライズゲーム用景品の企画・製作・販売を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、根強い需要を背景にプライズゲーム用景品の受注が好調に推移するとともに、製造コスト及び販売コストの削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は1,252,774千円（前年同期比8.9%増）、セグメント利益は110,284千円（前年同期比182.3%増）となりました。

②不動産関連事業

不動産関連事業につきましては、日本賃貸住宅保証機構株式会社が家賃保証業務及び物件管理業務等を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては顧客（不動産会社・賃貸人・借借人）に寄り添った丁寧な対応に努めてまいりました。営業面においては、引き続き、新規取引店の獲得や既存取引先の再稼働等、営業強化・拡大に向けての取り組みにより、売上高は好調に推移いたしました。管理回収面においては、与信審査及び債権管理業務の強化に取り組んでまいりましたが、滞納発生者が増加したことに伴う貸倒引当金繰入額の増加及び営業強化・拡大によるコスト増加等によりセグメント利益は微減となっております。

以上の結果、売上高は828,666千円（前年同期比20.0%増）、セグメント利益は49,350千円（前年同期比7.6%減）となりました。

③コンテンツ事業

コンテンツ事業につきましては、株式会社ポップティーンが電子書籍配信サイト「モビぶっく」の運営を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、電子書籍配信サイト「モビぶっく」において、費用対効果の高い集客施策の実施にくれえ、徹底した経費の節減を継続してまいりました。一方で、2022年7月を以って、auスマートパス「アプリ取り放題」が終了したことにより、減収減益となっております。

以上の結果、売上高は37,321千円（前年同期比48.8%減）、セグメント損失は8,765千円（前年同期はセグメント利益4,662千円）となりました。

④イベント事業

イベント事業につきましては、株式会社ブレイクが各地の大型商業施設の催事場にて著名なコンテンツの展示販売を中心に行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、「PSYCHOVISION hide MUSEUM Since 2000」を筆頭に、多くのイベントでグッズ物販を展開し、好調に推移いたしました。一方で、OEM物販の受注減少を補うまでには至らず、減収減益となっております。

以上の結果、売上高は90,210千円（前年同期比66.2%減）、セグメント損失は3,453千円（前年同期はセグメント利益33,994千円）となりました。

⑤マスターライセンス事業

マスターライセンス事業につきましては、主にフォーサイドメディア株式会社及び株式会社ポップティーンが出版事業を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、女子小中学生向け雑誌「Cuugal」の新イメージモデルにかんちゃん（カジサック（梶原雄太氏）の長女）を起用したほか、積極的なSNS展開や対面イベントの実施により、ブランド認知度が大きく向上いたしました。「Popteen」においては、2023年3月号よりWEBマガジンへとリニューアルを行い、よりスピーディなトレンドの配信を目指してWEB記事制作に注力してまいりました。なお、紙面販売の終了に伴い減収となりましたが、制作コストの一層の削減により損益は大幅に改善されました。また、第1四半期連結会計期間において、赤字の状態でも早期の業績回復が見込めない株式会社マーベラスアーク及び株式会社ホールワールドメディアの全所有株式を譲渡したことに伴い、セグメント損失は大幅に縮小しております。

以上の結果、売上高は96,898千円（前年同期比41.6%減）、セグメント損失は2,010千円（前年同期はセグメント損失67,547千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて53,899千円増加し4,302,915千円となりました。主な要因と致しましては、現金及び預金の増加309,156千円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少310,418千円及び収納代行未収金の増加71,299千円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べて3,298千円減少し3,190,026千円となりました。主な要因と致しましては、支払手形及び買掛金の減少119,020千円及び前受収益の増加80,387千円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べて57,198千円増加し1,112,889千円となりました。主な要因と致しましては、親会社株主に帰属する四半期純利益55,293千円を計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて309,156千円増加し、1,251,001千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、318,638千円の収入（前年同期は69,041千円の支出）となりました。主な要因と致しましては、売上債権の減少304,459千円、仕入債務の減少115,286千円及び税金等調整前四半期純利益74,684千円を計上したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、35,808千円の支出（前年同期は99,181千円の収入）となりました。主な要因と致しましては、敷金の差入による支出26,025千円、貸付けによる支出28,000千円及び貸付金の回収による収入56,733千円を計上したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、23,246千円の収入（前年同期は99,173千円の支出）となりました。主な要因と致しましては、長期借入れによる収入98,267千円及び長期借入金の返済による支出60,308千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、「2022年12月期決算短信」における通期の業績予測から変更しておりません。

なお、本資料に記載されている業績予測等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績等は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	941,845	1,251,001
受取手形、売掛金及び契約資産	786,623	476,204
商品	313,982	263,839
短期貸付金	15,590	17,386
収納代行未収金	1,266,605	1,337,905
代位弁済立替金	409,096	448,087
その他	105,925	96,061
貸倒引当金	△356,649	△373,262
流動資産合計	3,483,020	3,517,224
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	89,136	94,077
土地	90,317	91,308
その他(純額)	9,958	17,699
有形固定資産合計	189,412	203,084
無形固定資産		
ソフトウェア	6,332	12,084
その他	6,194	6,722
無形固定資産合計	12,526	18,807
投資その他の資産		
投資有価証券	178,719	178,719
長期貸付金	361,330	299,799
敷金	41,448	61,732
長期未収入金	42,187	7,187
その他	16,069	23,787
貸倒引当金	△75,700	△7,426
投資その他の資産合計	564,055	563,799
固定資産合計	765,994	785,690
資産合計	4,249,015	4,302,915

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	232,991	113,971
未払金	1,331,982	1,364,383
未払法人税等	6,543	19,986
前受収益	462,819	543,207
短期借入金	204,000	190,000
1年内返済予定の長期借入金	90,210	96,300
債務保証損失引当金	79,780	83,030
賞与引当金	—	18,000
その他	344,220	308,085
流動負債合計	2,752,548	2,736,964
固定負債		
長期借入金	418,792	443,848
利息返還損失引当金	6,630	—
その他	15,353	9,213
固定負債合計	440,776	453,061
負債合計	3,193,324	3,190,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	86,193	86,193
利益剰余金	871,814	927,107
自己株式	△3,788	△3,823
株主資本合計	1,054,219	1,109,478
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,471	3,410
その他の包括利益累計額合計	1,471	3,410
純資産合計	1,055,690	1,112,889
負債純資産合計	4,249,015	4,302,915

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業収益		
売上高	1,658,865	1,477,204
その他の営業収益	690,899	828,666
営業収益合計	2,349,764	2,305,871
営業原価		
売上原価	1,287,288	1,092,843
その他の原価	192,715	244,409
営業原価合計	1,480,003	1,337,253
売上総利益	869,761	968,617
販売費及び一般管理費	929,000	914,770
営業利益又は営業損失(△)	△59,239	53,847
営業外収益		
受取利息	4,047	3,555
為替差益	2,361	1,278
補助金収入	5,900	—
その他	616	564
営業外収益合計	12,924	5,397
営業外費用		
支払利息	7,495	8,215
貸倒引当金繰入額	839	17
その他	243	1,966
営業外費用合計	8,578	10,200
経常利益又は経常損失(△)	△54,893	49,044
特別利益		
投資有価証券売却益	7,581	—
関係会社株式売却益	—	25,640
特別利益合計	7,581	25,640
特別損失		
固定資産売却損	8,051	—
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	8,051	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△55,363	74,684
法人税、住民税及び事業税	13,814	19,390
法人税等合計	13,814	19,390
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△69,177	55,293
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△915	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△68,262	55,293

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△69,177	55,293
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,119	1,939
その他の包括利益合計	1,119	1,939
四半期包括利益	△68,058	57,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△67,143	57,233
非支配株主に係る四半期包括利益	△915	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△55,363	74,684
減価償却費	12,449	8,002
のれん償却額	2,370	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15,385	36,195
受取利息及び受取配当金	△4,066	△3,574
支払利息	7,495	8,215
為替差損益(△は益)	△2,361	△1,278
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△25,640
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△7,581	—
固定資産売却損益(△は益)	8,051	—
固定資産除却損	—	0
売上債権の増減額(△は増加)	97,167	304,459
棚卸資産の増減額(△は増加)	△21,892	50,158
仕入債務の増減額(△は減少)	△55,218	△115,286
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,080	18,000
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	2,900	3,250
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	△406	—
立替金の増減額(△は増加)	△22,678	△38,695
前受金の増減額(△は減少)	82,396	77,068
前渡金の増減額(△は増加)	△1,572	△10,175
未収入金の増減額(△は増加)	△64,606	△69,932
未払金の増減額(△は減少)	50,760	49,526
未払費用の増減額(△は減少)	△10,307	△22,153
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△110,355	—
その他	△561	△17,561
小計	△62,914	325,263
利息及び配当金の受取額	688	540
利息の支払額	△10,295	△4,424
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	3,480	△2,740
営業活動によるキャッシュ・フロー	△69,041	318,638
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△221	△19,777
有形固定資産の売却による収入	80,184	—
無形固定資産の取得による支出	△2,380	△14,354
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△4,385
投資有価証券の売却による収入	15,591	—
敷金の差入による支出	—	△26,025
敷金の回収による収入	102	—
貸付けによる支出	—	△28,000
貸付金の回収による収入	5,903	56,733
投資活動によるキャッシュ・フロー	99,181	△35,808
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△48	△35
自己株式の処分による収入	6	—
短期借入金の純増減額(△は減少)	△35,000	△14,000
長期借入れによる収入	19,615	98,267
長期借入金の返済による支出	△83,746	△60,308
リース債務の返済による支出	—	△677
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,173	23,246
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,877	3,081
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△65,156	309,156
現金及び現金同等物の期首残高	1,263,904	941,845
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,198,747	1,251,001

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従っております。

当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

前連結会計年度の決算短信の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント						その他 (注) 1
	プライズ	不動産関連	投資銀行	コンテンツ	イベント	マスター ライツ	
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	1,149,935	653,274	—	72,952	267,277	165,875	3,020
その他の収益(注) 4	—	37,428	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,149,935	690,703	—	72,952	267,277	165,875	3,020
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	300	—	184	—
計	1,149,935	690,703	—	73,252	267,277	166,059	3,020
セグメント利益又は セグメント損失(△)	39,065	53,398	△58,541	4,662	33,994	△67,547	1,262

(単位:千円)

	合計	調整額 (注) 2	四半期連結財 務諸表計上額 (注) 3
売上高			
顧客との契約から生 じる収益	2,312,336	—	2,312,336
その他の収益(注) 4	37,428	—	37,428
外部顧客への売上高	2,349,764	—	2,349,764
セグメント間の内部 売上高又は振替高	484	△484	—
計	2,350,248	△484	2,349,764
セグメント利益又は セグメント損失(△)	6,295	△65,534	△59,239

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融事業その他を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△65,534千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. その他の収益は、不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント					合計
	プライズ	不動産関連	コンテンツ	イベント	マスターライセンス	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,252,774	790,026	37,321	90,210	96,898	2,267,231
その他の収益(注)3	—	38,640	—	—	—	38,640
外部顧客への売上高	1,252,774	828,666	37,321	90,210	96,898	2,305,871
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,252,774	828,666	37,321	90,210	96,898	2,305,871
セグメント利益又はセグメント損失(△)	110,284	49,350	△8,765	△3,453	△2,010	145,405

(単位:千円)

	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高		
顧客との契約から生じる収益	—	2,267,231
その他の収益(注)3	—	38,640
外部顧客への売上高	—	2,305,871
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	2,305,871
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△91,558	53,847

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△91,558千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は、不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(「投資銀行事業」及び「その他の事業」の廃止)

「投資銀行事業」及び「その他の事業」については、2023年1月1日付で、当社の連結子会社で両事業を行っていたフォーサイドフィナンシャルサービス株式会社の全株式を売却したことから、第1四半期連結会計期間より両事業の報告セグメントを廃止しております。これにより、当社グループの報告セグメントを「プライズ事業」「不動産関連事業」「コンテンツ事業」「イベント事業」及び「マスターライセンス事業」の5区分としております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

(第三者割当による新株式の発行)

当社は、2023年8月9日開催の取締役会において、大島正人氏を割当予定先とする第三者割当による新株式の発行を次のとおり決議し、2023年8月25日に払込が完了する予定です。

- | | |
|------------------|--------------------------|
| (1) 発行する株式の種類及び数 | : 普通株式 5,130,000株 |
| (2) 発行価額 | : 1株につき79円 |
| (3) 発行価額の総額 | : 405,270千円 |
| (4) 資本組入額 | : 1株につき39.5円 |
| (5) 資本組入額の総額 | : 202,635千円 |
| (6) 払込期日 | : 2023年8月25日(予定) |
| (7) 募集又は割当方法 | : 第三者割当の方法によります。 |
| (8) 割当先及び割当株式数 | : 大島 正人 5,130,000株 |
| (9) 資金の使途 | : 借入金の返済及びPopteen事業の運転資金 |